社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年11月20日

計画の名称	高山市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	高山市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	610	A	610	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	下水道処理人口普及率を99.4%（H30当初）から99.6%（R4末）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	99%	99%	99%
	下水道を利用できる人口 / 下水道計画区域人口			
2	下水道処理区の広域化による接続管渠整備を行い、処理場能力有効利用率を81.2%（H29末）から82.5%（R4末）に増加させる。			
	処理場能力有効利用率	81%	81%	83%
	処理水量 / 処理能力			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高山市	直接	高山市	管渠（ 污水）	新設	上広瀬・三川地区管渠布 設（未普及解消）	150 L=5.6km	高山市						131		-	
	A07-002	下水道	一般	高山市	直接	高山市	管渠（ 污水）	新設	中尾地区管渠布設	150 L=3.9km	高山市						56		-	
	A07-003	下水道	一般	高山市	直接	高山市	管渠（ 污水）	新設	冬頭地区面整備（未普及 解消）	200 L=0.41km	高山市						12		-	
	R2より非重点計画に移行																			
	A07-004	下水道	一般	高山市	直接	高山市	終末処 理場	改築	処理区再編整備調査	基礎調査業務委託 N=1式	高山市						20		未策定	
A07-005	下水道	一般	高山市	直接	高山市	管渠（ 污水）	新設	漆垣内地区面整備	200 L=0.27km	高山市						37		-		
A07-006	下水道	一般	高山市	直接	高山市	-	-	農集上中処理区統合	接続管渠整備 N=1式	高山市						199		-		
A07-007	下水道	一般	高山市	直接	高山市	-	-	農集荒城処理区統合	接続管渠整備 N=1式	高山市						55		-		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 高山市水道部下水道課にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和6年11月
	公表の方法 高山市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道未整備地区の管渠整備を実施したことにより、快適な生活環境と流域の良好な水環境の保全に寄与した。 ・近接する下水道処理区を管路で接続し、処理場の数を減らすことで維持管理費の削減と統合先の処理場能力を有効に生かすことが図られ、下水道事業の効率化に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も、近接する処理区の統合検討を進め、経費的効果がある処理区については、管路接続整備を行い、下水道事業の安定し持続可能な経営基盤の強化を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水処理人口普及率	
	最終目標値	99%
	最終実績値	99%
2	処理場能力有効利用率	
	最終目標値	83%
	最終実績値	82%
		一部の処理区接続管渠整備が関連事業との調整により実施工程を見直し、次期計画に継続して実施することしたため、当計画期間内での実績値が減少した。（当初：3 処理区統合 実績：2 処理区統合）